

筑前町の公共施設及び公有地における 太陽光発電設備等導入可能性調査について

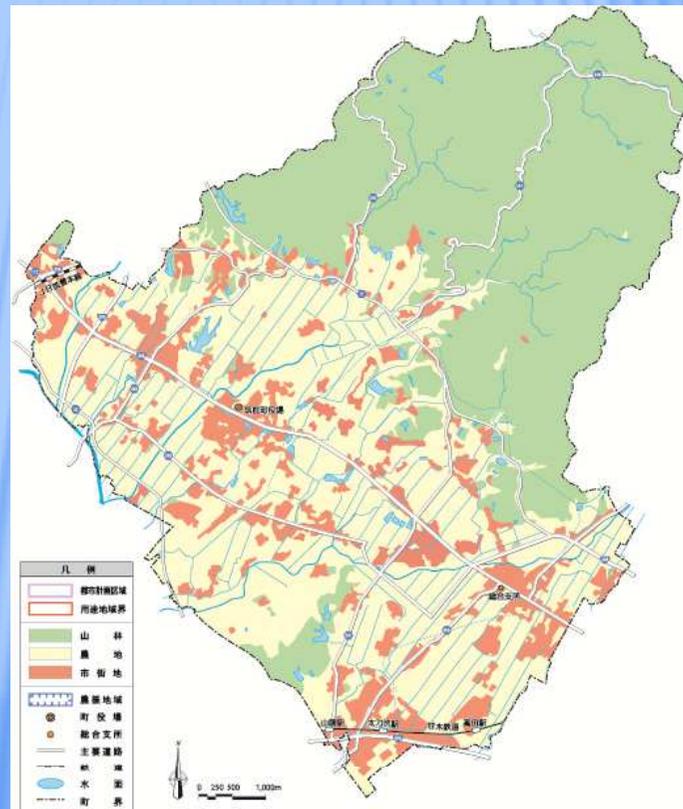
筑前町



筑前町の概要



位置：福岡県の中南部、筑紫平野の北部
面積：67.18平方キロメートル
人口：29,528人(平成26年2月末)



みんなで創る みどり輝く 快適空間 筑前町



調査の背景と目的

東日本大震災の教訓

- エネルギーの多様化、分散化
- 地域資源や特性を活かした
再生可能エネルギーの導入促進



「公共施設」及び「町有地」における
太陽光発電設備等導入可能性調査の実施

調査の手順

太陽光発電設備導入状況の把握

「公共施設」における導入可能性調査

「町有地」における導入可能性調査



導入計画の検討・今後の課題

調査の手順

太陽光発電設備導入状況の把握

「公共施設」における導入可能性調査

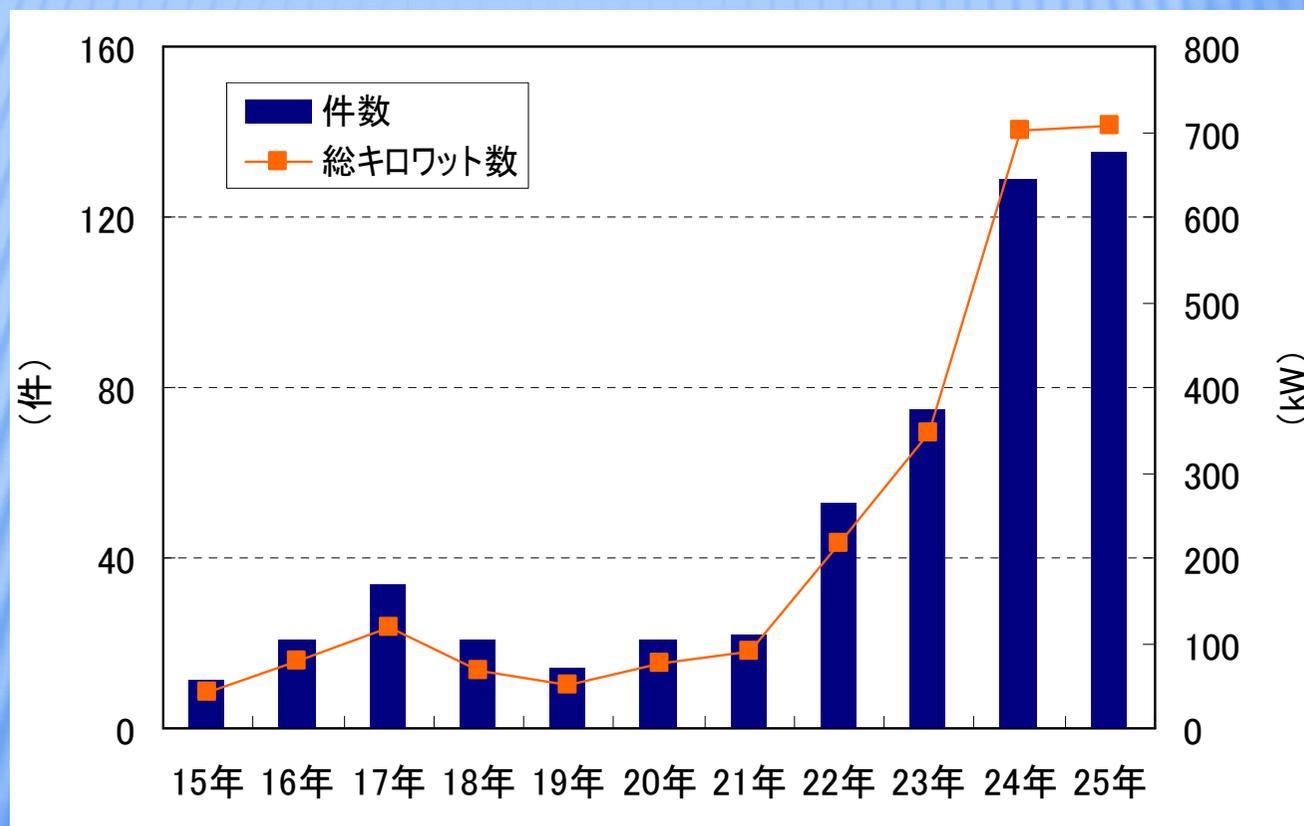
「町有地」における導入可能性調査



導入計画の検討・今後の課題

太陽光発電設備の導入状況

- ①住宅用太陽光発電システム補助
- ②町内6小中学校への導入(9kW)・本庁舎(50kW) など



みんなで創る みどり輝く 快適空間 筑前町



調査の手順

太陽光発電設備導入状況の把握

「公共施設」における導入可能性調査

「町有地」における導入可能性調査



導入計画の検討・今後の課題

「公共施設」における太陽光発電設備の導入

対象施設の絞り込み

町内の公共施設(107)→構造等から(14)

現場調査、図面検証、メーカー聞き取り等



5施設

対象とした「公共施設」

①ちくぜん少年大使館



②ファーマーズ
マーケットみなみの里



③めくばーる(学習館)



④大刀洗平和記念館



⑤中牟田小学校学童保育所



みんなで創る みどり輝く 快適空間 筑前町

調査の手順

太陽光発電設備導入状況の把握

「公共施設」における導入可能性調査

「町有地」における導入可能性調査

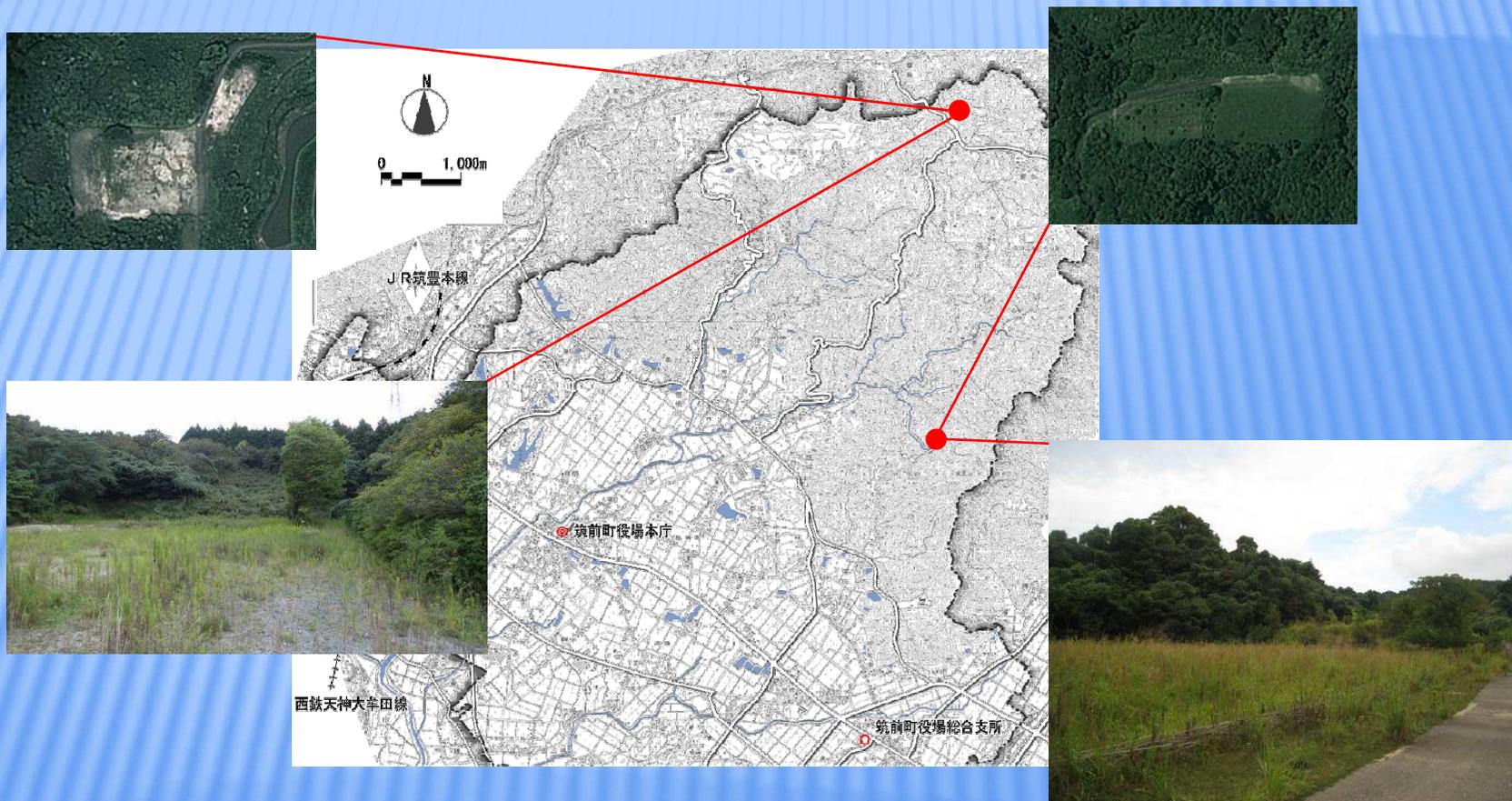


導入計画の検討・今後の課題

対象とした「町有地」・・・旧町ごみ焼却場

① 櫛木(4,200m²)

② 栗田(3,500m²)



みんなで創る みどり輝く 快適空間 筑前町

調査の手順

太陽光発電設備導入状況の把握

「公共施設」における導入可能性調査

「町有地」における導入可能性調査



導入計画の検討・今後の課題

導入計画・・・「公共施設」

- いずれの施設も平成26年度買取価格の32円/kWhで採算性が見込める（施設による大小は有）。
- 蓄電池は、現時点では高価であることからいずれの施設も採算性は見込めない
 - 災害対策・電源の多様化・地球温暖化防止等多角的な視点からの検討が必要

導入計画・・・「町有地」

- いずれの施設も平成26年度買取価格の32円/kWhで採算性が見込める。
- 土壌汚染対策法等による制限が生じる可能性
- 発電効率を高めるために、周辺樹木の伐採が必要
- 電線整備について九州電力との事前協議が必要

今後の課題

- 各施設の所管課による具体的な検討・推進
 - メーカーへの詳細な聞き取り
 - 庁内のコンセンサス・予算・各種補助制度等の調査
- 採算性・アピール性・環境教育・防災・景観等多角的な評価
- 遊休地の活用による地域の活性化対策にも活用
- 災害時の対応
 - 発電機との併用等、電源の多様化
 - 技術革新及び価格動向等の把握